

看護部ブログ No11

こんにちは、聖隷太郎です。秋の気配はどこへやら。まだまだ暑い日が続いていますね。今年の夏も新型コロナウイルス感染症が流行していますが、過去のコロナ禍ではもちろん、現在でも日々活躍しているのが、今月ご紹介する『看護感染委員会』です。感染症は知らないうちに私達の健康を奪います。この感染から患者と職員を守るために、院内感染対策に力を注いでいます。今回は、当院が強みとしている「共に楽しく学ぶ研修」も含めて紹介してくれるそうです。では、お願いします！



初めまして、感染委員会です！ 私達は、以下の目標のもと、日々活動しています。

【年間目標】

- ① 院内感染を伝播させないために、正しい知識・技術を習得し、発信する
- ② 各部署における手指衛生の現状を把握し、対策を検討・実施する
- ③ 院内で起こる感染症・感染対策にまつわる情報を共有し、委員会スタッフの知識や感度を向上する

【活動内容】

毎月の手指衛生チェック・新人研修(2回/年)・各種ルールの見直し等



委員会の様子

感染にまつわる課題を委員会内で共有・議論し、早期の解決を目指しています



手指衛生のチェック

毎月、手指消毒の手順やタイミングのチェックをしています

看護感染委員会では、新人・看護補助者・院内全体等への研修を企画・開催しています。研修生と委員会スタッフが共に楽しく学び、想起できる体験となるよう心懸けています。それを踏まえ、先日開催した、新人研修の演習風景を少しだけご紹介いたします。感染対策として個人防護具(マスクやガウン)の正しい着脱は欠かせません。誤った方法が感染伝播に繋がるため、この研修では徹底的に実技指導を行いました。指導する委員会スタッフが誤りを指摘されるという、笑いが溢れる一幕もありましたが、共に助言し合い、状況に適した対策にたどり着けたことは、成功体験として参加者の記憶に残ったのではないのでしょうか。今後も当委員会は、院内の感染管理を担い、職員のスキルアップに尽力します！

